

益城町教育委員会
袴野組合教育委員会

産山小中学校を訪問して

コミュニティスクール推進へまっしぐら!!

We have a dream

…産山小中学校校訓



産山小中学校での研修の様子

産山小中学校は上記の校訓のもと、平成16年から二期制の導入に続いて19年から他市町村に先駆けて小中一貫(※1)教育に取り組んでいる。現在は保小中の連携、実践交流を図るとともに、地域と一体となって子どもたちの生きる力を支援する学校支援地域本部事業を推進している。その中で、益城町も力を入れている学校支援地域本部事業について報告する。

地域でつくる「学校応援隊」として次の4つのコミュニティに分けて活動している。

交流コミュニティ

広げ隊

今年で25回目になるタイ国の中学生との「ヒゴタイ交流」(※2)や海と山との交流「御所浦交流活動を通して、異なる文化や伝統を理解し、心の交流を深めるための支援」。



ヒゴタイの花

ヒゴタイ交流を通して、郷土に根ざした国際理解教育という目的を十分に果たすため、特色ある教育課程の編成を行い、「ヒゴタイイングリッシュ」(英会話科)「うぶやま学」「チャレンジ学習」を設定している。

体験コミュニティ

暮らし隊

子どもヘルパー活動や農業体験、歴史探訪、餅つき交流

などを通し、自分の暮らしや生き方を考えるための支援。

地域のひととの体験活動や交流を通して豊かな人間性が育まれている。「わいわいヒゴタイ土曜塾」

文化・安全コミュニティ

伝え隊

ヒゴタイ太鼓や浦安の舞など、村の伝統文化を守り伝えていく心を養うとともに地域の安全を守る活動を通して、村を愛する心を育てるための支援。

学習支援コミュニティ

学び隊

環境学習や食育指導を通して地域学習の支援を行ったり、朝自習時間の読み聞かせを通して、読書に親しむ態度を育てたりする支援。

特に平日の「放課後子ども教室(火・木)」では、学習アドバイザーが子どもたちの遊びや学習を支援する。(創作活動・そろばん教室など)

この4つの支援活動により、地域と学校がこれまで以上に相互理解、連携が図られ、地域の教育力を学校に導入することができたと成果を強調しておられた。

産山村の市原教育長の「義務教育を終え産山村外へ出ていくまでに「うぶやま学」を身につけ、産山に誇りを持ち、自分の生き方を考えて欲しい。子どもたちが成長し、また次の世代へと伝えていくてくれることを願っています」の言葉が心に残った。

※1 小中一貫

特色ある教育課程の編成を行い、9年間を見通した学びの連続性を図る。

小1～小5(前期)

小6～中1(中期)

中2～中3(後期)

※2 ヒゴタイ交流

村花のヒゴタイと「肥後とタイ」を掛けた名前である。

町教育委員会

袴野組合教育委員会

文責…田中茂子